

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	大阪公立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難
			全学 共通 科目	学部等 共通 科目	専門 科目	合計		
現代システム科学域	全学類		48	0	0	48	13	
文学部	全学科			0	0	48	13	
法学部	全学科			0	0	48	13	
経済学部	全学科			0	0	48	13	
商学部	全学科			0	0	48	13	
理学部	全学科			0	0	48	13	
工学部	全学科			0	0	48	13	
農学部	全学科			0	0	48	13	
獣医学部	全学科			0	0	48	19	
医学部	医学科			0	0	48	19	
	リハビリテーション学科			0	0	48	13	
看護学部	全学科			0	0	48	13	
生活科学部	全学科			0	0	48	13	
(備考)								

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

大阪公立大学 HP にて公表
<https://www.omu.ac.jp/campus-life/education/undergraduate/>
 ・シラバス情報「履修上の注意」欄にて、授業担当者の実務経験を活用した授業であることを明記

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	大阪公立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 理事（役員）名簿の公表方法

公立大学法人大阪のWEBサイトで公表
<https://www.upc-osaka.ac.jp/about/directors/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
常勤	(前職) 大阪府 教育長	2021年4月 ～ 2023年3月	総務、財務、企画担当
常勤	(前職) 大阪市 財政局長	2021年4月 ～ 2023年3月	人事、経営戦略、施設整備担当
常勤	(前職) 三重大財務部長	2021年4月 ～ 2023年3月	基金・広報戦略、渉外・調整担当
非常勤	(現職) 公立大学法人大阪理事 [再任]	2022年4月 ～ 2023年3月	高専、特命事項担当
非常勤	(現職) 小野薬品工業株式会社 代表取締役社長	2021年4月 ～ 2023年3月	特命事項担当
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	大阪公立大学
設置者名	公立大学法人大阪

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 学生の履修登録時の資料として、また、授業開始後は学習を進める際の参考のため、提供するすべての授業についてシラバスを作成している。 シラバスには、「授業概要」「到達目標」「各回の授業内容」「事前・事後学習の内容」「成績評価方法」「履修上の注意」「教科書・参考文献」が必ず記載されており、対外的には大学のウェブサイトで公開されている。 シラバスは、前年度の11月頃に作成を開始し、3月上旬までに全ての学部で公開されている。	
授業計画書の公表方法	https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/syllabus/
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価において、GPA等の客観的な指標による成績評価の方法、公表基準を設定し公表するとともにシラバス等であらかじめ提示し、それに則した厳格にして適切な成績評価を実施している。	
3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績評価は100点を満点として評価し、60点以上を合格とする。再試験を実施する場合の評価については、上限を60点とする。各科目の成績評価の方法、評価基準等はシラバスに明示する。 その他、各学域・学部において、成績評価ガイドラインを定め、成績評価の適切性に関する統一を図る。また、成績評価の分布状況については、システム等を活用して把握・分析する。 また、学生アドバイザー等によるきめ細やかな履修指導体制の下、GPA(Grade Point Average)を積極的に活用し、大学での学修への適応が困難な学生の早期発見や学修支援を行い、教育の質保証に繋げる。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/
4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 学士課程の修業年限は医学部医学科及び獣医学部を除き4年とし、卒業要件としては4年以上在籍し、基幹教育科目及び専門科目の中から必要な単位を修得することとし、各学部等において卒業に必要な単位数を定める。修業年限を6年とする医学部医学科及び獣医学部獣医学部においても、それぞれ卒業に必要な単位数を定める。 履修モデルについては、各学域・学類及び学部・学科においてそれぞれ定める。 卒業・修了要件等については、学生・大学院生には履修要項及び履修指導等で適切に明示する。	

卒業の認定に関する 方針の公表方法	https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/ https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/evaluation/index.html
----------------------	--

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	大阪公立大学
設置者名	公立大学法人大阪

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
収支計算書又は損益計算書	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
財産目録	
事業報告書	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/
監事による監査報告（書）	https://www.upc-osaka.ac.jp/info/upco_info/financial/

2. 事業計画（任意記載事項）

単年度計画（名称：公立大学法人大阪 2022 年度年度計画 対象年度：2022 年度 ）
公表方法： https://www.upc-osaka.ac.jp/about/evaluation/upc_evaluation/
中長期計画（名称：公立大学法人大阪第1期中期計画対象年度：2019年～2025年 ）
公表方法： https://www.upc-osaka.ac.jp/about/evaluation/upc_evaluation/

3. 教育活動に係る情報

(1) 自己点検・評価の結果

公表方法：大阪公立大学の Web サイトで公開（予定）

(2) 認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：大阪公立大学の Web サイトで公開（予定）

(3) 学校教育法施行規則第 172 条の 2 第 1 項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名 現代システム科学域・文学部・法学部・経済学部・商学部・理学部・工学部 農学部・獣医学部・医学部・看護学部・生活科学部
教育研究上の目的（公表方法：大阪公立大学の HP にて公表 https://www.omu.ac.jp/academic/undergraduate/ ）
（概要） 大阪公立大学は、学術文化の中心として真理を探究し、もって豊かな人間性と高い知性を備え応用力や実践力に富む優れた人材を養成することを使命とし、広い分野の総合的な知識と高度な専門的学術を教授研究するとともに、地域・産業界との連携のもと高度な研究を推進し、その成果を社会に還元することにより、地域社会及び国際社会の発展に寄与することを目的とする。
卒業の認定に関する方針（公表方法：大阪公立大学の HP にて公表 https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/policy/ ）
（概要） 学士課程教育を通して、現代人として必要な教養を修得し、国際感覚の錬磨によって幅広い視野に立ち、自主的・総合的な判断力、問題解決能力、及び豊かな人間性と社会に積極的に参加する市民的公共性を身に付け、生涯にわたり継続的・発展的に学び成長できる人材を育成する。 【学士課程各学部ディプロマポリシー】 （現代システム科学域） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sss/ （文学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_lit/ （法学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_law/ （経済学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_econ/ （商学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_bus/ （理学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sci/ （工学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_eng/ （農学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_agri/ （獣医学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_vet/ （医学部医学科） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_med/ （医学部リハビリテーション学科） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_reha/ （看護学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_nurs/ （生活科学部） https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_life/
教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：大阪公立大学の HP にて公表 https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/policy/ ）

(概要) 学士課程教育では、専門分野を学ぶための基礎教育や学問分野の枠を越えた普遍的・基礎的な能力の養成にあると考え、専門分野の学修を通じて学生が知識の獲得だけではなく、社会が求める人材養成にも配慮した教育課程編成を行う。 授業科目は、基幹教育科目及び専門科目により構成する。基幹教育科目は主に1年次・2年次において学び、専門科目は2年次以降に学ぶことにより、有機的・体系的な編成を行う。 【学士課程各学部カリキュラムポリシー】 (現代システム科学域) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sss/ (文学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_lit/ (法学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_law/ (経済学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_econ/ (商学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_bus/ (理学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sci/ (工学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_eng/ (農学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_agri/ (獣医学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_vet/ (医学部医学科) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_med/ (医学部リハビリテーション学科) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_reha/ (看護学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_nurs/ (生活科学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_life/
入学者の受入れに関する方針（公表方法：大阪公立大学のHPにて公表 https://www.omu.ac.jp/admissions/ug/policy/)
(概要) 大阪公立大学は、学士課程を通して、ディプロマポリシーに掲げた学修成果を修める学生を育成して教育目標を達成するために、人間性豊かで、多様な関心、柔軟な思考力を持ち、科学・産業・文化・社会の発展や持続可能社会の実現に寄与しようとする志を持つ、向学心旺盛で優れた資質を有する学生を、広く国内外から受け入れる。 【学士課程各学部アドミッションポリシー】 (現代システム科学域) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sss/ (文学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_lit/ (法学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_law/ (経済学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_econ/ (商学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_bus/ (理学部) https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_sci/ (工学部)

https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_eng/
(農学部)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_agri/
(獣医学部)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_vet/
(医学部医学科)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_med/
(医学部リハビリテーション学科)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_reha/
(看護学部)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_nurs/
(生活科学部)
https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/purpose/policy_ug_life/

②教育研究上の基本組織に関すること

大阪公立大学 HP にて公表
<https://www.upc-osaka.ac.jp/about/org/>
<https://www.omu.ac.jp/academic/undergraduate/>

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数 (本務者)	
--------------	--

学部等の組織の名称	学長・ 副学長	教授	准教授	講師	助教	助手 その他	計
—	13 人	—					13 人
現代システム科学域	—	47 人	38 人	2 人	2 人	0 人	89 人
文学部	—	38 人	25 人	2 人	0 人	0 人	65 人
法学部	—	23 人	14 人	0 人	0 人	0 人	37 人
経済学部	—	29 人	13 人	0 人	0 人	0 人	42 人
商学部	—	20 人	20 人	0 人	0 人	0 人	40 人
理学部	—	84 人	77 人	17 人	9 人	0 人	187 人
工学部	—	122 人	105 人	26 人	26 人	0 人	279 人
農学部	—	24 人	26 人	9 人	9 人	0 人	68 人
獣医学部	—	17 人	22 人	5 人	3 人	0 人	47 人
医学部	—	55 人	71 人	120 人	27 人	0 人	273 人
看護学部	—	25 人	22 人	22 人	2 人	0 人	71 人
生活科学部	—	26 人	22 人	9 人	2 人	0 人	59 人
教養部（一般教育）	—	36 人	39 人	5 人	1 人	0 人	81 人
その他	—	13 人	9 人	0 人	4 人	0 人	26 人

b. 教員数（兼務者）

学長・副学長	学長・副学長以外の教員	計
0 人	1538 人	1538 人

各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)	公表方法： https://kyoiku-kenkyudb.omu.ac.jp/html/home_ja.html
------------------------------	--

c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）

全学的なFD活動は、高等教育研究開発センターを中心に実施している。

<https://www.omu.ac.jp/las/highedu/>

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学 定員	編入学 者数
現代システム科学域	260 人	270 人	103.8%	260 人	270 人	103.8%	人	人
文学部	160 人	163 人	101.9%	160 人	163 人	101.9%	16 人	人
法学部	180 人	188 人	104.4%	180 人	188 人	104.4%	5 人	人
経済学部	295 人	295 人	100.0%	295 人	295 人	100.0%	人	人
商学部	270 人	278 人	103.0%	270 人	278 人	103.0%	人	人
理学部	299 人	311 人	104.0%	299 人	311 人	104.0%	人	人
工学部	741 人	743 人	100.3%	741 人	743 人	100.3%	40 人	人
農学部	150 人	159 人	106.0%	150 人	159 人	106.0%	人	人
獣医学部	40 人	44 人	110.0%	40 人	44 人	110.0%	人	人
医学部医学科	90 人	95 人	105.6%	90 人	95 人	105.6%	人	人
医学部リハビリテーション学科	50 人	52 人	104.0%	50 人	52 人	104.0%	人	人
看護学部	160 人	160 人	100.0%	160 人	160 人	100.0%	人	人
生活科学部	153 人	159 人	103.9%	153 人	159 人	103.9%	人	人
合計	2,848 人	2,917 人	102.4%	2,848 人	2,917 人	102.4%	61 人	0 人
(備考) 編入学は令和5年度より入学								

b. 卒業生数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考) 2022 年度開学のため卒業生該当なし				

c. 修業年限期間内に卒業する学生の割合、留年者数、中途退学者数 (任意記載事項)					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業生数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) 授業名、担当教員名、授業の目的・到達目標、授業形態、各回の授業内容、成績評価方法、成績評価基準、準備学習等についての具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等の情報を示し、HPを通じて公開している。 https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/syllabus/index.html 年度の授業計画については、学域・学類、学部・学科の履修要覧等で公開している。 https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/curriculum/index.html
--

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要) 各授業の学修成果に係る評価の基準はシラバスに明示している。 https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/syllabus/index.html 卒業及び修了の認定に関する基準は、学則及び各学部要覧に定めている。 https://www.omu.ac.jp/campus-life/course/curriculum/				
学部名	学科名	卒業に必要となる 単位数	G P A制度の採用 (任意記載事項)	履修単位の登録上限 (任意記載事項)
現代システム科学 域	知識情報 システム学類	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	環境社会 システム学類	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	教育福祉学類	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	心理学類	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
文学部	哲学歴史学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	人間行動学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	言語文化学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	文化構想学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
法学部	法学科	128 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
経済学部	経済学科	125 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
商学部	商学科	125 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	公共経営学科	125 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
理学部	数学科	133 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	物理学科	140 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	化学科	129 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	生物学科	125 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	地球学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	生物化学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位

工学部	航空宇宙工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	海洋システム 工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	機械工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	建築学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	都市学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	電子物理工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	情報工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	電気電子 システム工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	応用化学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	化学工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	マテリアル 工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	化学バイオ 工学科	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
農学部	応用生物科学科	130 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	生命機能化学科	130 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	緑地環境科学科	130 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
獣医学部	獣医学科	211 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
医学部	医学科	205 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	リハビリテーシ ョン学科 理学療法学専攻	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	リハビリテーシ ョン学科 作業療法学専攻	131 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
看護学部	看護学科	129 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
生活科学部	食栄養学科	133 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	居住環境学科	125 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
	人間福祉学科	129 単位	有	1 年間で 50 単位未満 1 年前期では 25 単位
G P A の活用状況（任意記載事項）		公表方法：		
学生の学修状況に係る参考情報 （任意記載事項）		公表方法：		
（概要）				

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること

公表方法：<https://www.omu.ac.jp/about/campus/>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
全学科	全学科	535,800 円	大阪府民 及びその子 282,000 円	0 円	
			その他の者 382,000 円	0 円	
獣医学部	獣医学科	535,800 円	大阪府民 及びその子 282,000 円	185,000 円	【その他欄内訳】 実験機器充実負担金 85,000 円（年額） 実習充実負担金 100,000 円（年額）
			その他の者 382,000 円		

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組
（概要） 【アクセシビリティセンター】障がい、性的指向・性自認（SOGI）等を理由として支援を必要とする学生のための相談・支援窓口として、学生の所属部局・担当教員等と連携し、また全学的相談の包括的窓口である「学生なんでも相談窓口」や関係部署と協力し、「アクセシビリティ支援委員会」を意思決定の場として、修学支援を行う。また、「障がいのある学資絵の修学上の合理的配慮検討会議」で審議し、障がいのある学生への合理的配慮を提供している。 【OMU ラーニングセンター】学生の自律的学修促進支援及び授業における学修成果向上支援のため、専属スタッフによる個別の学修指導等を行っている。
b. 進路選択に係る支援に関する取組
（概要） 【キャリア支援室】学生の「個別進路相談」（キャリアコンサルタント資格や民間企業での職務経験豊かなスタッフによる個別面談）を日常的に予約受付し実施している。また学生が自らの進路選択に必要な情報を「就職ガイダンス」（就職環境の動向に対応して多様なテーマで実施）や「学内セミナー」（企業や団体から実践的な情報提供）などの就職支援イベントを通じて、低年次生から上位学年まで、進路選択に関する支援を行っている。 ※2020 年度以降、新型コロナウイルスの影響により、不安や情報不足、学生同士の情報交換が困難状況に対応するためイベントや個別相談にオンライン実施も積極的に導入し支援している。
c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組
（概要） 【健康管理センター】校医・看護師による、健康相談や応急処置、健康診断後の健康管理を実施する。 【メンタルヘルスセンター】校医による精神科相談、臨床心理士によるカウンセリングを実施する。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：大阪公立大学の HP にて公表 <https://www.omu.ac.jp/about/edu-data/>